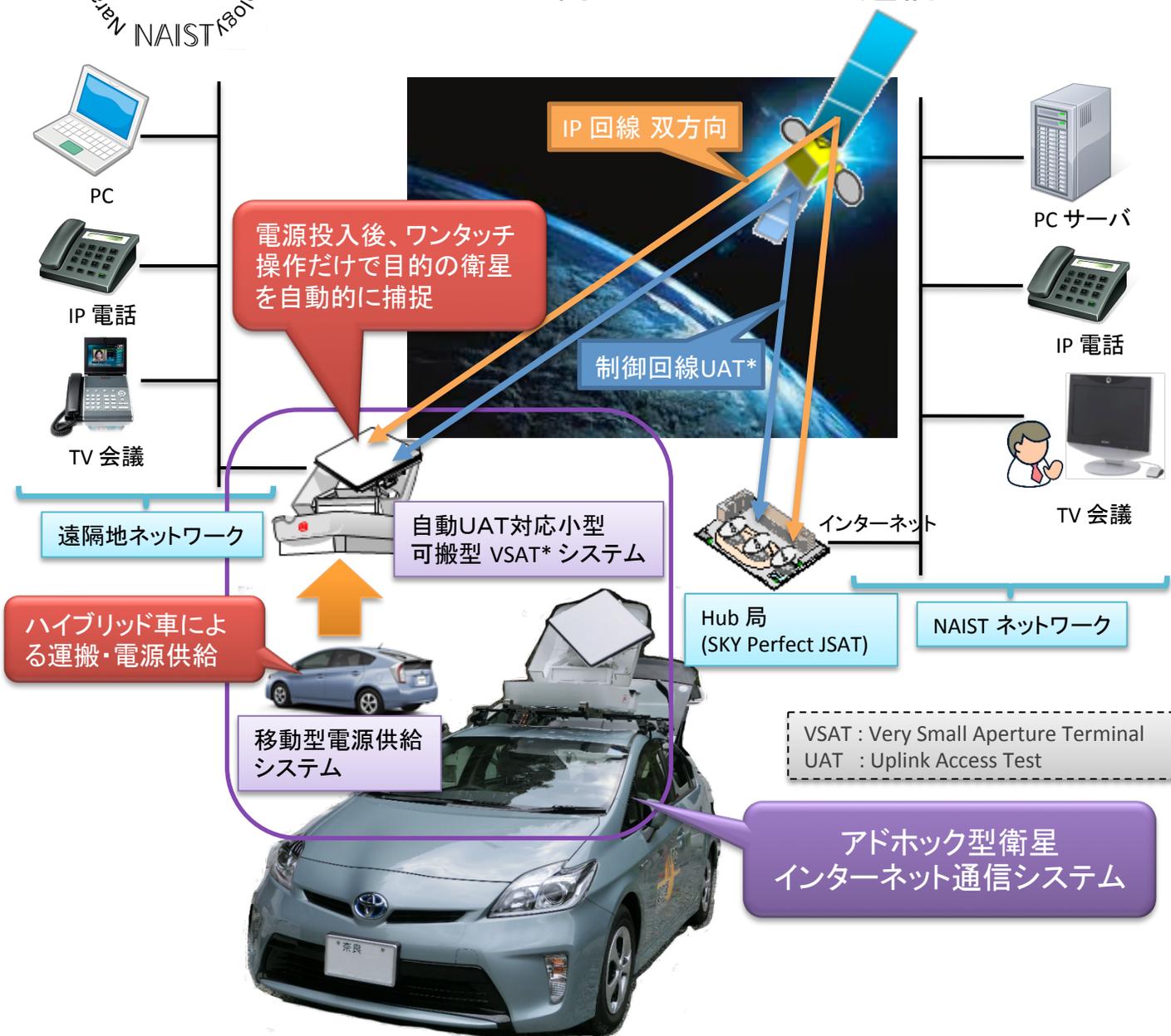


DR への取り組み

アドホック型衛星インターネット通信システム



導入経緯:

被災時におけるコンテナ機器の非常用通信確保
実現にはコスト大(地球局・専用線等々)で方針変換

目的:

被災地やデジタルデバイド(情報格差)地域において簡易な操作でインターネット接続の確保

今後の課題:

遠隔地への非公開データバックアップ
衛星回線の効率的な平時利用
鹿児島米盛病院等と連携した病院間専用ネットワーク構築と利活用